

共同シンポジウム 次第

テーマ 水辺の自然再生 よみがえる魚たちⅡ

開催期日 2012年11月3日(土)

会場 エルパーク仙台(仙台市青葉区一番町 4-11-1 141ビル 5F)

趣旨説明 高橋清孝(水辺の自然再生シンポジウム実行委員長)

第1部 10:00~12:00 座長 佐藤弘樹(シナイモツゴ郷の会)

ゆたかな自然を子どもたちへ

① 地域の宝シナイモツゴとゼニタナゴを守るために

- ・二宮景喜(シナイモツゴ郷の会) 地域ぐるみの取り組みの必要性和体制づくり
- ・吉田千代志(シナイモツゴ郷の米つくり手の会) 地域住民の取り組み
- ・鈴木俊光(鹿島台小学校) 里親の取り組み

② 地域から全体へ

- ・(杜の伝言板ゆるる) 一般市民との交流をめざす活動

③ リレートーク

- ・鹿島台小学校など3校の里親小学生
- ・市民(里親小学生の母親)
- ・消費者(一般消費者)
- ・農業者(西澤誠弘:伸^{しん}萌^{ぼう}ふゆみずたんぼ生産組合)

④ 自由討論

リレートーク講師へのインタビュー中心

第2部 13:00~17:30

魚たちをよみがえらせるために 進行 坂本啓(シナイモツゴ郷の会)

① 先進知見の紹介 13:00~15:40

- ・西野 麻知子(びわこ成蹊スポーツ大学) 琵琶湖の再生戦略
- ・千野 力(東京都) 多摩川におけるアユなど魚類復元と原因
- ・池田 実(東北大学) シナイモツゴ遺伝子多様性の保全
- ・朝井 俊亘(近畿大学) メダカの新種発見と保全
- ・芦沢 淳(宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
アメリカザリガニの生態と駆除
- ・高橋 清孝(シナイモツゴ郷の会)
シナイモツゴとゼニタナゴ生息場の拡大、ため池から河川へ

② 自然再生の取り組み紹介(リレートーク 7分/人) 15:40~16:30

- ・井上 信夫(生物多様性ネットワーク新潟) トキ野生復帰と外来魚対策
- ・村上 伊佐弥(NPO 亀岡人と自然のネットワーク) アユモドキの保全活動
- ・上原 一彦(イタセンバラ保全市民ネットワーク) イタセンバラの保全活動
- ・鈴木 盛智(手賀沼水生生物研究会)
生き物復元の第1歩としての民間企業との協働
- ・三塚 牧夫(ナマズのがっこう) 池干しによるブラックバス完全駆除
- ・藤本 泰文(伊豆沼バスバスターズ) バス・バスターズの外来魚駆除
- ・鈴木 康文、浅野 功(シナイモツゴ郷の会) シナイモツゴ里親活動

③ 総合討論 16:30~17:30 座長 小林光(ノーバスネット)

*終了後、情報交換会(会費4,000円)を開催します。